

## まちのうごき

4月14日 村瀬 松夫さん  
100歳おめでとございます



100歳を迎えられた村瀬松夫さん(高岩)に、町から感謝状と敬老祝金が贈呈されました。ご家族が見守るなか、和気あいあいとした雰囲気の中で感謝状を受け取り嬉しそうなお様子でした。村瀬さんは、高岩で農業に携っており、90歳頃まで盆栽の手入れや柏樹学園で社交ダンスなどを楽しむなど多彩な趣味をお持ちで、ブラジルで開催されたゲートボールの国際大会に参加したことがあるとのことでした。村瀬さん、これからもどうぞ元気にお過ごしください。

4月19日 稲垣 輝幸さん 栗栖 尚子さん  
行政相談委員に委嘱状を交付



令和3年度から2年間の任期で、行政相談委員の委嘱(特定の仕事を一定の間、他の人に任せること)が行われました。行政相談委員とは、国や役場の行う仕事について、困っていることや要望などをお聞きし、公正な立場で解決を進めるため、関係機関への連絡等を行う大切な活動をしています。今回は、稲垣輝幸さんが再任、栗栖尚子さんが新たに任命されました。「心配ごと相談」など定期的な活動をされています。

**SDGs (持続可能な開発目標)とは?** Sustainable Development Goalsの略称。国際連合が定める国際目標で、17の世界的目標、169の達成基準、232の指標があります。加盟している国によって話し合われ、2016年から15年間で達成するための目標として発表されたもので、分かりやすく説明すると「貧困や飢餓、人や国の不平等、環境破壊など世界にある課題を、世界で解決するための目標」ということとなります。

4月7日 芽室中学校  
芽室から新たに「日本一」が誕生!



教育長室で第23回日本ジュニア管打楽器コンクールの報告会が行われました。芽室中学校からは「クラリネット四重奏」「フルートの部(ソロ部門)」に計5名がエントリー。中でもフルートの部に出場した豊田 翼さんは見事金賞を獲得し、ジュニア日本一となりました。受賞に際し、豊田さんは「(出場者のレベルが高く)予選の段階で挑戦する立場だった。努力が実って嬉しい」とコメント。顧問の吉田先生は「部員が皆努力家で、コロナ禍による活動休止期間も練習を継続していました。全員まだ伸びると思います」と目を細めていました。

4月19日 SDGs推進に関する連携協定



一般社団法人帯広青年会議所(帯広JC 鈴木信宏理事長)とSDGs(エスディーズ)推進に関する連携協定を締結(条約・約束などを取り結ぶこと)しました。この連携協定は、十勝に住む子どもたちに出前講座などを通じてSDGsを正しく理解してもらい、持続可能なまちづくりにつなげていくことを目的としており、管内の多くの自治体と帯広JCが連携協定を締結しています。締結にあたり鈴木理事長は、「人づくりはまちづくりという青年JCの考え方もSDGsの考え方と重なる。この連携を機会に持続可能なまちづくりのお手伝いができれば」と話されました。



山本 樹さん  
上美生小学校6年生。現在「石黒会」に所属し、各種大会で活躍中。

芽室町公式  
YouTubeチャンネルで動画を視聴できます



「歌にはストーリーがあって一枚の絵のようになっていく感覚が楽しい」と笑顔で語る樹さん。普段はやさしい表情ですが、歌っているときは真剣そのもの。



歌の魅力は「表現すること」  
現在3回の石黒会の活動のほか、自宅で毎日30分〜1時間、歌の練習を行っています。自宅での練習は民謡だけでなく、ミュージカル・ソングやポップスまで幅広く聴いたり歌ったりするそうです。  
歌の魅力について「自分なりに歌の意味を理解して感情を表現できること」と語る樹さん。今後の目標は発声技術の向上で「喉を使ってしまうので、お腹で発声できるように、表現の幅を広げたい」とのことです。樹さんの今後の活躍に期待したいと思います。

いま注目の小学生シンガー  
山本さんは現在「石黒会」(芽室、石黒みゆき会会主)に所属し、民謡を学んでいます。民謡を始めたのは3年生のとき。広報紙に載っていた同会の案内をみて見学に行き、その日のうちに入会を決めたそうです。入会後は1年足らずで日本民謡協会少年少女全国大会に出場。この3年間で道内最大規模の民謡大会「北海道知事優勝旗争奪全道民謡決勝大会」で優勝、ごっこ(甚句)全国大会優勝。最近ではメディア出演を果たすなど、着実に経験を積んできました。